

青色は当 [Portfolio] 編での照合番号を示す。
対応作品については表示数字の高い順番で配列。

*当 Index は [教育研究業績書] p.12 ~ 15 に同じ。

作品目録

	作品・プロジェクト等の名称	共・単	発表の年月	クライアント・発表団体名	概要
01.	「天神ぴーす NOW 3・10」ポスター	単	1985.03	福岡マスコミ文化共闘	福岡のテレビ局・広告代理店等の労働組合(福岡マスコミ文化共闘)が音頭をとって開催した市民イベント。その告知ポスターを作成。(B2判)
02.	福岡県弁護士会・情報誌「ひまわり」編集デザイン	共	1986.03	福岡県弁護士会	福岡県弁護士会が一般に向けて視覚的に分りやすく仕事内容を解説した、全国先駆けのパンフレット。 1985年度 福岡広告協会賞(パンフPR誌部門) 銀賞。 (志水 安, 富山祥瑞, 野沢裕子, 茶野邦雄)
03.	「全国広告労協・春闘」ポスター 「押しの一手だ!」	単	1986.03	全国広告関連労働組合協議会	広告労協から依頼のポスター制作, 初めて自らイラストレーションとコピーを手がけた作品。(B2判)
04.	第一製版シンボルマーク デザイン	単	1987.08	福岡: 第一写真製版	新聞製版会社のシンボルマーク。当時の製版の特徴であった網点と, 社名にある「第一」のDの2点をシンボライズ。
05.	ワインセラー「D's Cellar」 ヴィジュアル デザイン	共	1988.03	福岡: 大福酒販	「生きてるおいしさを, 生きてるままに」—— 日本最大級の酒類貯蔵庫 D's Cellar を福岡市東区にオープンさせた大福酒販のVI開発とオープン時の広告展開, それとノベルティ展開。 (織田秀也, 富山祥瑞, 中島由起子, 茶野邦雄)
06.	特別展「便利重宝文明の利器」展 (東京国際文具フェア'90)	単	1990.10	文具事務協同組合連合協議会 (於: 東京都立産業貿易センター)	『東京国際文具フェア』の主催団体(文具事務協同組合連合協議会)企画による招聘の個展。約40点の文房具にまつわるエッセイとイラストレーションの画文で構成された作品群を出品。
07.	社報「西広の四季」 ジャケット デザイン	単	1994.07 1995.03	福岡: 西広	当時, 勤務先の「社報」は, 一人の社員が表紙をデザインする習わしで, 私が担当した際は文房具の画文で表現した —— 文具メーカーでないのに, 寛容な会社であった。
08.	スーパーマーケット「LaLaLaグループ」 シンボルマーク デザイン	共	1995.11	熊本: 寿屋グループ	当時, 九州の流通業を牽引していた寿屋グループ。LaLaLaグループ(現在は流通業界から撤退)としての拡大展開の御旗・全国オープンコンペでのシンボルマーク採用作品(3名での共同制作/ 富山祥瑞, 石原義美, 清水克久)。
09.	情報紙「文房百宝」シリーズ (全5点) 新聞広告「しっと~, こんな重宝な文房具」シリーズ(全3点)	単	1996.04~ 1998.03 1996.12~ 1997.03	福岡: ノア・カワバタ	老舗文房具店ノア・カワバタの新店舗展開「SOHO」の情報紙と新聞広告シリーズ。ガリ版風の全手描きで表現。情報紙は1996年度 福岡広告協会賞(SP部門) 銅賞。 (『日本の1&2色グラフィックス』P・I・E BOOKS, 2002, p.137 載録)
10.	新幹線広告キャンペーン (1995年度, 1996年度, 1997年度)	共	1996.02 ~ 1998.01	JR西日本	新幹線の3か年広告キャンペーン。初年次は従来の「速さ」から離れ様々な利便性を, 2年目は「私は新幹線です」, 仕上げの3年目は「500系のぞみ」の登場に収斂。1995年度 福岡広告協会賞(アーバンアド部門) 銅賞。 (藤田健二, 富山祥瑞, 石原義美, 森 靖子)



	作品・プロジェクト等の名称	共・単	発表の年月	クライアント・発表団体名	概要
11.	ニュータウン「宗像・樟陽台」商品プロデュース&広告計画	共	1996.07 ～ 2001	福岡：東峰住宅産業	福岡県宗像市に誕生の「宗像・樟陽台」（東峰住宅の持ち分 307 区画）プロジェクトでの商品化計画&広告計画（富山祥瑞，石原義美）。その足跡は『ニュータウンにおける商品化計画と広告に関する研究・企画』として発表。
12.	ニュータウン「パークコミュニティー桜の里」街づくりデザイン&広告計画	共	1999.03 ～ 2003	長崎：桜の里パークタウン開発	長崎市郊外に開発された1036区画の戸建てニュータウン。街づくりデザインの総合ディレクション、VI計画、広告計画に至る一連の事業（富山祥瑞，松尾政信，石原義美，濱砂清，久原 正）。日本デザイン学会『デザイン学研究 作品集』第8号に発表。
13.	広告キャンペーン「博多銘菓・鶴乃子」	共	2000.03 ～ 2002.10	福岡：石村萬盛堂	老舗・石村萬盛堂が三代前より製造の博多銘菓「鶴乃子」，約百年の広告初登場では，その伝統的な卵型地パッケージを重要なアイコンと捉えて広告を展開（TV-CM，新聞広告，ポスター他）。（富山祥瑞，加藤裕二，米谷康弘，石田哲也）
14.	分譲マンション商品化計画「和白丘クロスコート」	共	2002.10 ～ 2003.03	福岡：昭栄建設	広告パワーで商品売るのが通用しなくなった時節，売れる商品プロデュースしてこう！と，設計事務所と共に住居のデザインから着手した分譲マンション。（プランニング：富山祥瑞，実施設計：内藤建築設計，基本設計：ダイスプロジェクト）
15.	リーフレット「愛知教育大学憲章」発表ツールの編集デザイン	単	2003.05	愛知教育大学 企画課	制定された（2003 年）ばかりの「愛知教育大学憲章」のリーフレット。広告代理店から便利な教員が着任したとあって，私の大学初仕事。とにかく旧来の「官庁印刷物」を払拭したグラフィックデザインとした。（A4 判 2 折）
16.	中部電力 本店ショーウィンドウ「光の万華鏡」デザイン・施工	共	2003.10	中部電力 広報部	県内大学のデザイン系ゼミを対象にしたコンペでの採用作。当時のゼミ生5名と共に実施の施工まで請負った。（ゼミ生：池野由佳，加藤 彩，倉内有希，滝 純，川北景子，監修・指導：富山祥瑞，施工協力：オフィス21）
17.	小冊子『愛知教育大学 憲章制定の歩み』 企画・編集デザイン	単	2004.02	愛知教育大学 広報部会	上記（15）の制定プロセス報告書。国立大学での旧来の報告書の在り方（本文：タイプ印刷，ジャケット：レザック紙）を払拭させたい学内へのプレゼンテーションの狙いもあった。
18.	愛知教育大学『大学案内』企画・編集デザイン（2005 年版～2013 年版）	単独後に 共作	2004.07 ～ 2012.06	愛知教育大学 広報部会	着任時（2003 年）までの愛知教育大学の受験生向け『大学案内』は，タイプ印刷の様相であった。「国立大学が広報をする必要はない」意見もある中でスタート。当時は広報の事務組織すら無かったが，部門の設立も提案，後に実現した。
19.	愛知教育大学 広報誌『Campus Now!』企画・編集デザイン	単	2005.01 ～ 2013.04	愛知教育大学 広報部会	旧来の在学生向け広報誌『学園だより』の編集方針を全てリニューアル。学生登場を中心としたハンディな冊子として，2005 年来 10 年間刊行，今は Web に機能を譲っている。学内に広報の組織が整うまで編輯を主務。
20.	愛知教育大学 VI 整備シリーズ——「名刺」	単	2006	愛知教育大学	組織のアイデンティティとして必須アイテムながら，各自でバラバラに作られていた名刺に対し，デザインシステムを提唱した。必要性が認められたのは随分と後になってからである。

					
	作品・プロジェクト等の名称	共・単	発表の年月	クライアント・発表団体名	概要
21.	愛知教育大学 VI 整備シリーズ—— 「手提げ袋」 (2008～2016年, 5ヴァージョン)	単	2008.07 ～ 2016.06	愛知教育大学 広報課	もともとは受験生向けオープンキャンパス用に開発, 帰路に名鉄を利用する電車内媒体も狙った。 現在は, 様々な行事で広く活用されている。全て同じシステムの色違いで展開, 現在は人気の 2016 年版を継承。
22.	愛知教育大学 美術選修・専攻(〔びじゅつ]) ヴィジュアル デザイン	共	2009.06 ～	愛知教育大学 美術教育講座	学内組織の最小単位である「専攻」のVI計画で, シンボルマーク, アプリケーション展開・マニュアル作成(富山祥瑞, 石川奈津紀)。経緯と中身については学会論文として, 日本デザイン学会『デザイン学研究 作品集』第20号に発表。
23.	愛知教育大学 VI 整備シリーズ—— 「建物内サイン システム」	単	2011.03	愛知教育大学 施設課	学内のサインについては統一性が無く, 研究室表示も各教員任せであった。 大学・施設課の依頼で, 全学的にデザイン・システムを整備する機会を得た。マニュアルを作成し, 現在も踏襲されている。
24.	学会「ICTE2011-japan」に関する ヴィジュアル デザイン	単	2011.11	International Conference on Technology Education (大会主幹: 愛知教育大学)	愛知教育大学 技術教育講座が主幹となった国際学会のシンボルマーク, ポスター, ジャケット, グッズ等をデザインした。 技術の学会でもあり, 数理化を用いたデザインでの統一展開を図った。
25.	文房具商品企画「cap de magnet」	単	2012.06	サンスター文具 第17回 文房具アイデアコンテスト 日経ビジネスAsocie賞	ペットボトルのキャップは時に楽しいイラストや, 綺麗な色の物があり, 捨てるのが勿体ない。このキャップをマグネット化する補助製品の試作プロダクト。未だ, 商品化にはなっていない。
26.	ギャラリー&喫茶「えむM」 ヴィジュアル デザイン	単	2013.06	宮崎県都城市の民芸品ギャラリー&喫茶店	古民家を活用した宮崎県都城市にある民芸品ギャラリー兼喫茶店の店舗サイン計画等で, 建物の形状をモチーフにシンボル化した。未だに依頼未消化分もあり, 開発途中段階。
27.	愛知教育大学 VI 整備シリーズ—— 「植物サイン システム」	共	2015.03	愛知教育大学 学長裁量経費	バラバラな表示で存在していたキャンパス内の「植物サイン」について, ゼミ生とデザインを提案(富山祥瑞, 井手里美, 石濱瀬奈, 福田有加里, 平 歩実)。学長裁量経費で試作 5 基を設置。予算の関係で, 現在もフル装備には至っていない。
28.	啓発絵本『知っていこう「見えにくいもの」も～気づかれない聴覚障害への理解～』	共	2015.03	愛知教育大学 学長裁量経費	聴覚障害学生の情報保障に関する企画として, ゼミ生と共に(富山祥瑞, 堀田千加, 小山亜衣子, 墨 真帆) 大学初年次演習の教科書として啓発絵本を出版。内容面の監修には特別支援教員・岩田吉生に依頼。
29.	「NIE 全国大会 名古屋大会」に関する ヴィジュアルデザイン	単	2017.08	日本新聞協会 (大会主幹: 中日新聞社)	大会主幹社であった中日新聞社の依頼で, 大会シンボルをはじめ一連のツール類のデザインを担当した。
30.	「附属幼稚園 概要」編輯デザイン (2016 年版～現在進行形)	共	2016.10 ～ 現在進行形	愛知教育大学 附属幼稚園	園長就任を機に, それまで役所的な「概要」であったのを, 全面リニューアル。新装後はイメージ醸成のデザインシステム化を図った。 (AD: 富山祥瑞, D: 紋嶋笑美子, 石濱瀬奈) (220×210, 3折リーフレット)

